



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
 コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 泰夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 梅山 雅紀
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 022-385-7692
2019年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,918	△2.1	674	△4.3	742	△3.0	437	△0.3
2019年3月期第2四半期	17,279	3.6	705	△1.6	765	0.5	438	1.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 431百万円 (△5.9%) 2019年3月期第2四半期 458百万円 (△21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	62.57	—
2019年3月期第2四半期	62.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	30,275	16,115	47.7
2019年3月期	31,637	15,881	44.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 14,430百万円 2019年3月期 14,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△1.5	1,650	△0.8	1,750	△2.7	1,000	△9.3	143.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の : 有
会計処理の適用

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	7,004,000株	2019年3月期	7,004,000株
2020年3月期2Q	17,742株	2019年3月期	17,768株
2020年3月期2Q	6,986,247株	2019年3月期2Q	6,986,211株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦、中国経済の減速懸念等、海外情勢の不確実性により先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は169億18百万円と前年同四半期に比べ3億61百万円(2.1%)の減収、営業利益は6億74百万円と前年同四半期に比べ30百万円(4.3%)の減益、経常利益は7億42百万円と前年同四半期に比べ22百万円(3.0%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億37百万円と前年同四半期に比べ1百万円(0.3%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、86億13百万円と前年同四半期に比べ2億25百万円(2.6%)減少いたしました。営業利益は6億83百万円と前年同四半期に比べ7百万円(1.1%)の増加となりました。

当部門の売上高の状況といたしましては、溶解アセチレンは圧接向けの需要が減少いたしました。販売価格の見直しを行ったことにより増加し、また、窒素は半導体・エレクトロニクス向けの需要が増加、アルゴンは工事案件の獲得等により増加、食品用ガスは既存顧客の需要が増加したこと等により売上高は増加いたしました。一方で、酸素は電炉・鉄鋼向けの需要が減少し、また、液化石油ガス及び石油類は輸入価格の下落の影響を受け、売上高は減少いたしました。

利益面におきましては、販売費及び一般管理費は増加いたしました。売上原価は液化石油ガスの輸入価格の下落により減少し、営業利益は増加いたしました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、55億41百万円と前年同四半期に比べ3億66百万円(7.1%)増加、営業利益は1億35百万円と前年同四半期に比べ52百万円(62.7%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、溶接切断器具の需要が増加、また生活関連器具は消費税増税前の駆け込み需要もあり売上高は増加し、営業利益も増加いたしました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、17億34百万円と前年同四半期に比べ2億83百万円(14.1%)減少、営業利益は63百万円と前年同四半期に比べ53百万円(45.8%)の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、自動車部品メーカーの設備投資需要が減少したことにより売上高は減少し、営業利益も減少いたしました。

その他事業

その他事業の売上高は、10億27百万円と前年同四半期に比べ2億18百万円(17.5%)減少、営業利益は1億59百万円と前年同四半期に比べ46百万円(22.4%)の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、製氷・冷凍機械等の大型物件の減少により売上高は減少し、営業利益も減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、302億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億62百万円減少いたしました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類の冬場のエネルギー需要が減少したこと及び自動車機器関連事業の設備投資需要の減少により、売上債権が減少（16億97百万円）したこと等によるものであります。

負債は、141億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億96百万円減少いたしました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類の需要が冬場と比較し減少したこと及び自動車機器関連事業の仕入高減少により、仕入債務が減少（12億50百万円）したこと等によるものであります。

純資産は、161億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億34百万円増加いたしました。この主な要因は、配当金の支払いによる減少（1億74百万円）はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上（4億37百万円）したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、79億90百万円となり、前連結会計年度末より4億16百万円(5.5%)増加いたしました。

営業活動で得られた資金は、8億70百万円、投資活動で使用した資金は、1億86百万円、財務活動で使用した資金は、2億68百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の回収額が減少したこと、たな卸資産が増加したこと及び法人税等の支払額が増加したこと等により、前年同四半期に比べ9億83百万円(53.0%)減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

無形固定資産の取得による支出は増加いたしました。有形固定資産の取得による支出が減少したこと等により、前年同四半期に比べ18百万円(9.2%)支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額が増加いたしました。借入金の返済額が減少したこと等により、前年同四半期に比べ1億48百万円(35.6%)支出が減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,590,577	8,005,735
受取手形及び売掛金	6,792,817	5,677,319
電子記録債権	3,374,474	2,792,068
商品及び製品	803,543	946,148
仕掛品	374,315	311,721
原材料及び貯蔵品	83,759	107,931
その他	190,118	201,802
貸倒引当金	△21,748	△20,240
流動資産合計	19,187,859	18,022,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,287,793	3,204,611
機械装置及び運搬具(純額)	945,665	907,670
土地	5,543,936	5,546,936
その他(純額)	460,180	389,658
有形固定資産合計	10,237,576	10,048,877
無形固定資産	126,657	155,871
投資その他の資産		
投資有価証券	1,203,312	1,159,429
その他	921,244	926,662
貸倒引当金	△39,154	△38,255
投資その他の資産合計	2,085,403	2,047,835
固定資産合計	12,449,637	12,252,585
資産合計	31,637,496	30,275,072
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,697,834	4,699,450
電子記録債務	1,940,157	1,688,156
短期借入金	3,280,000	3,462,000
1年内返済予定の長期借入金	424,016	361,461
未払法人税等	315,260	286,989
賞与引当金	370,260	383,203
役員賞与引当金	17,725	2,230
その他	1,206,536	1,080,403
流動負債合計	13,251,790	11,963,893
固定負債		
長期借入金	390,652	242,099
役員退職慰労引当金	421,564	291,514
退職給付に係る負債	1,391,975	1,353,488
資産除去債務	5,657	5,709
その他	294,634	302,835
固定負債合計	2,504,483	2,195,646
負債合計	15,756,274	14,159,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	981,967	1,004,269
利益剰余金	10,854,455	11,116,710
自己株式	△9,570	△9,560
株主資本合計	14,087,852	14,372,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,187	58,478
その他の包括利益累計額合計	82,187	58,478
非支配株主持分	1,711,182	1,684,633
純資産合計	15,881,222	16,115,532
負債純資産合計	31,637,496	30,275,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	17,279,587	16,918,200
売上原価	12,346,004	11,982,814
売上総利益	4,933,583	4,935,385
販売費及び一般管理費	4,228,447	4,260,794
営業利益	705,135	674,591
営業外収益		
受取利息	134	242
受取配当金	14,279	12,811
受取賃貸料	42,281	41,431
持分法による投資利益	11,154	9,298
その他	35,256	38,054
営業外収益合計	103,106	101,837
営業外費用		
支払利息	19,924	17,815
賃貸費用	18,026	15,387
その他	5,222	999
営業外費用合計	43,173	34,202
経常利益	765,069	742,226
特別利益		
固定資産売却益	3,769	1,642
特別利益合計	3,769	1,642
特別損失		
固定資産除売却損	20,510	5,718
特別損失合計	20,510	5,718
税金等調整前四半期純利益	748,328	738,150
法人税等	287,459	277,904
四半期純利益	460,868	460,246
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,361	23,111
親会社株主に帰属する四半期純利益	438,506	437,134

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	460,868	460,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,289	△29,006
持分法適用会社に対する持分相当額	2,482	△229
その他の包括利益合計	△2,807	△29,236
四半期包括利益	458,061	431,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438,100	413,426
非支配株主に係る四半期包括利益	19,960	17,584

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	748,328	738,150
減価償却費	360,742	337,959
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,808	△2,406
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,710	12,942
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,100	△15,495
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△61,394	△130,049
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23,835	△38,486
受取利息及び受取配当金	△14,413	△13,053
支払利息	19,924	17,815
持分法による投資損益 (△は益)	△11,154	△9,298
固定資産売却益	△3,769	△1,642
固定資産除売却損	20,510	5,718
売上債権の増減額 (△は増加)	1,998,633	1,697,904
たな卸資産の増減額 (△は増加)	159,356	△104,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,286,298	△1,250,385
その他	126,805	△65,938
小計	2,074,906	1,179,552
利息及び配当金の受取額	16,479	15,126
利息の支払額	△19,616	△18,827
法人税等の支払額	△217,541	△305,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,854,227	870,602

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△225,728	△169,824
有形固定資産の売却による収入	9,288	7,124
無形固定資産の取得による支出	△3,752	△45,721
投資有価証券の取得による支出	△2,870	△2,800
貸付けによる支出	△18,000	△20,500
貸付金の回収による収入	24,720	20,020
その他	11,178	25,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,162	△186,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,700,000	656,000
短期借入金の返済による支出	△2,017,000	△474,000
長期借入れによる収入	300,000	24,000
長期借入金の返済による支出	△188,172	△235,108
リース債務の返済による支出	△40,696	△41,949
子会社の自己株式の取得による支出	△2,454	△6,544
配当金の支払額	△139,844	△174,797
非支配株主への配当金の支払額	△28,469	△15,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	△416,637	△268,251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,232,427	416,158
現金及び現金同等物の期首残高	5,532,822	7,574,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,765,250	7,990,735

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2019年5月17日開催の取締役会において、2019年6月24日開催の定時株主総会終結時をもって、役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。また、同株主総会において役員退職慰労金の打切り支給について承認可決されました。

これにより当社の「役員退職慰労引当金」を取崩し、打切り支給に伴う未払額46百万円については、各役員の退任時に支給することから、「固定負債」の「その他」に含めて計上しております。

なお、一部の連結子会社については引き続き、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金に関する内規に基づく要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,839,846	5,175,168	2,018,623	1,245,949	17,279,587	—	17,279,587
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,839,846	5,175,168	2,018,623	1,245,949	17,279,587	—	17,279,587
セグメント利益	675,699	83,046	116,741	205,908	1,081,396	△376,260	705,135

(注) 1 セグメント利益の調整額△376,260千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,613,910	5,541,526	1,734,912	1,027,850	16,918,200	—	16,918,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,613,910	5,541,526	1,734,912	1,027,850	16,918,200	—	16,918,200
セグメント利益	683,249	135,142	63,315	159,794	1,041,501	△366,910	674,591

(注) 1 セグメント利益の調整額△366,910千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。